2020年関西学生男子秋季学校対抗戦　競技規定

1. 加盟男子校を1部、2部、3部、4部に分ける。

1部は1位から6位までの6校、2部は7位から12位までの6校、3部は13位から18位までの6校、4部は19位から最下位校とする。

1. 3・4部学校対抗戦の上位2校が2部校戦の出場資格を得る。また、2部校学校対抗戦の順位で2部の順位が決定し、7位は3部の1位、8位は3部の2位となる。そして1位の学校が1部校学校対抗戦の出場資格を得る。
2. 競技方法及び選手数は次のようにする。
①1部・2部・3部・4部はストロークプレーとする。1部は原則として1日18ホールズ2日間36ホールズストロークプレーとし、各日8名中上位7名の合計ストローク数により順位を決定する。2部は27ホールズストロークプレーで、5名中上位4名の合計ストローク数により順位を決定する。
3・4部は18ホールズストロークプレーで、4名中上位3名の合計ストロークにより順位を決定する。1部で合計ストローク数の相等しき場合には、８番目の2日間の合計ストローク数により、さらに相等しき場合には７，６，５、4、3、2、1番目に合計ストローク数の少ない学校を上位とする。2部以下で合計ストローク数の相等しき場合には、1部形式で順位を決定する。
②選手登録は1部12名、2部7名、3部・4部6名とする。1部は、2日目の選手交代を認める。
3. キャディー
すべての競技は帯同キャディーを認めず、セルフプレーとする。
4. 競技の成立
1部は、2日間で36ホールを終了できなかった場合は、競技を18ホールに短縮する。

2部は、1日27ホールを終了できなかった場合は18ホールとすることができる。
全員が18ホールを終了できない場合は、各校の1人以上が終了していれば競技成立としそのスコアを採用する。2人以上が終了していれば、各校が終了した同じ人数の合計スコアとする。

3・4部は、悪天候等で選手全員が終了できない場合、各校の1人以上が終了している場合競技成立としそのスコアで決定する。全校の2人以上が終了している場合は、終了した同じ人数の合計スコアで順位決定する。

1. 信夫杯争奪日本大学対抗ゴルフ選手権の出場資格は１部リーグ上位校で、日本学生ゴル連盟の定めた校数とする。
2. 順位は昨年度の秋季学校対抗戦の成績に基づく。

関西学生ゴルフ連盟